

事業番号	08 04 25	事業改善シート (25年度実施事業分)		■ 予算要求	□ 予算案	□ 点検
事業名	家畜改良推進指導事業			担当課	部局	農政部
				課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 ◆ 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S61 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○優秀な種畜の利用促進を図るため、法律に基づき種畜として供用が可能であるか種畜検査を行う。</p> <p>○家畜の改良増殖に必要な人工授精師の確保をするため、法律に基づいた講習会を実施して必要な家畜人工授精師の確保を図る。</p> <p>○はちみつの安定生産を図るため、転飼調整委員会を開催して適正なみつばち群の配置を進める。</p> <p>○受精卵移植推進体制の構築により県産牛の改良を進め、畜産農家の生産性、収益性の向上を図る。</p>	
現状	<p>○種畜検査は、家畜改良増殖法の規定により家畜改良センターから委託されている。</p> <p>○現在、54名の家畜人工授精師により、人工授精と受精卵移植が行われている。</p> <p>○養蜂振興法に基づき転飼調整委員会を開催し飼育群数の調整を行っている。</p> <p>○受精卵移植推進員を配置して地域の技術者の養成を進めている。</p>	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 家畜改良増殖法、養蜂振興法に基づき実施する業務のため。 家畜改良増殖法、養蜂振興法

成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)				
	○種畜検査 75頭 ○家畜人工授精師養成講習会 29名 (家畜人工授精:24名、家畜受精卵移植:5名) ○養蜂振興推進事業 100件、5,000群 ○地域受精卵移植の推進 採卵:90頭、移植:290頭				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25実施内容	H24 (当初)	H25 (要求) (予算案)
	種畜検査	直接	・家畜改良増殖法に基づく種雄畜の検査	241	241
	家畜人工授精師養成講習会	直接	・家畜改良増殖法に基づく家畜人工授精師の新規養成	1,710	1,710
養蜂振興推進事業	直接	・養ほう振興法に基づくみつ源の植生状況調査と転飼調整委員会の開催による飼育群数の調整	175	175	
地域受精卵移植の推進	直接	・受精卵移植推進員による県下一円を対象とした牛受精卵移植技術の実践提供と民間技術者への技術支援	4,459	4,459	
家畜共進会の開催支援	補助	・5年に一度開催される全国和牛能力共進会への参加を支援する	1,380	0	
合計			7,965	6,585 0	

事業コスト	区 分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越						項目	現況(見込)	H25			H26 目標
		当初予算	6,774	7,062	7,965	6,585	目標			成果	達成状況		
		補正予算						種畜検査	60頭	75頭			
		合計(A)	6,774	7,062	7,965	6,585	0	家畜人工授精師養成講習会	19名	29名			
	Aの財源	国庫支出金						養蜂振興推進事業	5,344群	5,000群			
		県債						地域受精卵移植:採卵	109頭	90頭			
		その他(繰入金)	4,743	5,031	6,474	6,474		地域受精卵移植:移植	244頭	290頭			
		一般財源	2,031	2,031	1,491	111	0						
	決算額(B)	4,743	5,031										
概算人件費	職員数(人)	3.66	3.66	3.66	3.66								
概算人件費(C)	30,440	30,224	30,224	30,224	0								
概算事業費(B(A)+C)	35,183	35,255	38,189	36,809	0								

要求からの主な変更点	
------------	--